

【水防】洪水時における大規模工場等の避難場所としての活用

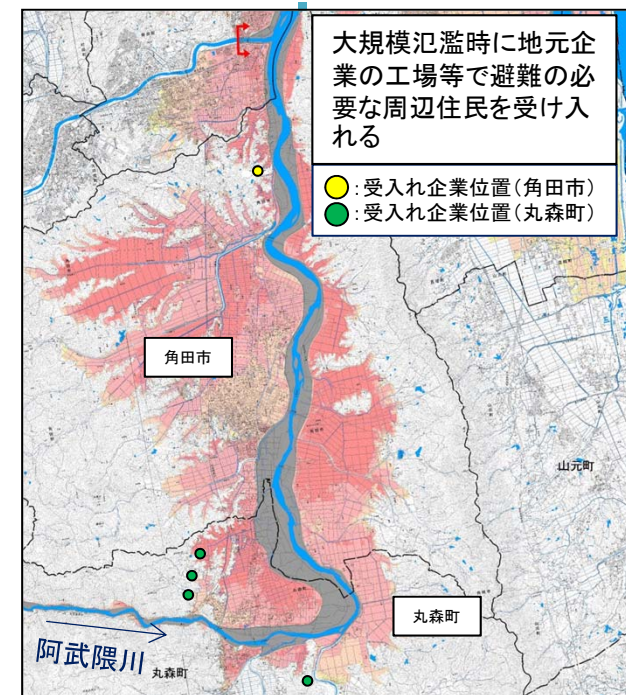
名取川・阿武隈川下流大規模氾濫時の減災対策協議会
=「逃がす・防ぐ・取り戻す」ことにより、氾濫被害の最小化を目指す=

【現状及び課題】

- L2規模(想定最大規模)降雨等による大規模氾濫時には、市町のほぼ全域が浸水域となってしまう可能性があり、各自治体の一部の避難所が活用不可。
- 対岸にしか避難所が存在しない場合、河川を横断しての避難が必要。

【課題に対する対応】

- 大規模氾濫時における避難場所として、丸森町及び角田市で企業と災害時避難者受入れ協定を締結。



阿武隈川(福島県・宮城県境から海まで)L2浸水想定区域図
(平成28年6月10日公表)



フロンテックPRO(株)との災害時避難者受入れ協定締結式(丸森町)

= 協定締結企業 =

【角田市】

- ・アイリスオーヤマ株式会社 角田工場

【丸森町】

- ・仙南ジェロントピア
- ・仙南行政事務組合 あぶくま斎苑
- ・(株)ケーヒン宮城第一製作所
- ・フロンテックPRO東北営業所・丸森工場